

Relation

リレーション

討議資料

2024年4月
天野ひでお事務所発行

vol.2

地域と県政を繋ぐ 天野ひでおの県政レポート

時代をつなぎ 未来をつくる

県議1年生として無我夢中で駆け抜けた中
成果も生まれつつあります



ごあいさつ

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

皆様から厚いご支援をいただき、大願が成就して、はや一年。新人議員として、無我夢中で駆け抜けた日々でしたが、研鑽と挑戦、そして反省の繰り返しでありました。

そんな中、6月定例会で初めて質問に登壇させていただいた際は、「祖父と父も、この場所に…」と感慨もひとしおであった次第です。

もちろん、私が何より大切にすべきは、地域の皆様のご期待にお応えしていくこと。2年目を迎えて尚、3代にわたってお世話になっている地域の皆様のため、そして郷土のため、「弱者のための政治」「政治は弱い立場におかれている方々のためにある」という父の政治理念を、今一度噛み締め、地域の課題解決に向け、全力で邁進していく覚悟です。

岡山県政の情報や私の政治活動のご報告をさせていただく、この「Relation」も2号目。どうか、ご一読いただき、益々のご支援、ご鞭撻を賜ればと存じます。

岡山県議会議員 **天野 英雄**

県立高校等の教室で 空調の公費化!!

保護者が負担していた
教室の空調の電気代等を
公費で負担することに!!

4億5069万円

〈R5年6月定例会で質問〉

晴れの国離島交流促進 ・振興事業が決定!!

離島地域の魅力発信等で
交流人口・関係人口を拡大
担い手確保につながる事業も!!

1040万円

〈R5年6月定例会で質問〉

少子化対策へ 男性育休の促進!!

男性育休が当たり前!!
男性育休取得期間に応じた
企業への奨励金支給など

1億806万円

〈R5年6月定例会で質問〉

〈プロフィール〉●生年月日:昭和54年12月21日 岡山県議会議員 天野学・喜代美の次男として生まれる。●家族:妻、長女、次女。●好きな言葉:一期一会。●学歴:笠岡小学校・金光学園中学校・金光学園高等学校・慶応義塾大学経済学部卒業。●職歴:株式会社天満屋・加藤勝信衆議院議員秘書。●議員歴:令和5年岡山県議会議員選挙で初当選。総務委員会委員・教育再生・子ども応援特別委員会副委員長。

※すべて令和6年度当初予算

天野ひでお 事務所

住 所:岡山県笠岡市笠岡1863-1

TEL:0865-60-0139 FAX:0865-60-0143

E-mail:hideo.amano@kasaokacity.com

SNSでも情報発信しています

<https://amanohideo.jp>



Facebook



Instagram



H P

議会での質問も順調に回を重ね、 地域の皆様の“声”を県政に届けるべく 微力ながらも奮闘しています。



9月定例会
一般質問

地元笠岡地域はもとより ルーツである北木島など離島問題について質問

1 離島航路の支援について

〈質問〉 離島航路維持・確保のための国の補助制度は、対象を、唯一かつ赤字の航路とし、内容も複雑だ。全国で相次ぐ離島航路の休止は、現在の支援制度では、十分に支援が行き届いていないことを表している。住民が安心して住み続けられるためには、**航路支援の拡充**が必要だが、どのような支援が考えられるか。

〈県民生活部長〉

- 県では、国の補助対象となっている航路に対し、国と協調して補助を行っているが、対象が限定的であることから、国に対し、**既存制度の拡充**や**新たな補助制度の構築**などを要望している。
- 県独自の支援策として、**地方創生臨時交付金**を活用。新型コロナウイルスの影響による利用者の減少や、燃料価格の高騰による経営状況の悪化を考慮した支援を行ってきた。
- 島民の生活を支える重要な交通インフラであり、航路の維持に向けた支援については、**社会情勢等を踏まえながら適切に対応**していく。

2 離島の観光振興について

〈質問〉 おかやま夏旅キャンペーンで、離島地域に関する観光ツアーも展開している。大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭などの開催を見据え、その成果を分析し、離島地域に関する観光情報発信や体験型観光企画の充実を図り、本土側の観光地を含めた**周遊性の高い観光ルートの開発**に取り組んではいかがか。

〈産業労働部長〉

- おかやま夏旅キャンペーンでのツアー実施のほか、岡山観光WEBで島を巡るモデルコースや島の見どころを紹介する特集記事を掲載するなど、**離島地域に関する観光情報発信**に努めている。
- 今回の成果を踏まえ、県観光連盟や市町村等と連携、瀬戸内海特有の景観や水産資源、固有の文化などの観光資源を生かした**コンテンツ開発**や**ツアー造成**、**国内外に向けた情報発信**を進めていく。
- 近隣県等と、**瀬戸内エリア広域での誘客促進**も図る。

3 漁業の担い手確保等について

〈質問〉 農林水産業は、高齢化などから従事者が減少しているが、特に労働環境や収入面の厳しい漁業従事者への支援にしっかり取り組まなければ、漁業の衰退は免れない。瀬戸内海の豊かな恵みを県内外に届けるためにも、これからの**岡山の漁業を支える担い手を確保育成**する県独自の支援策が必要と考えるが。

〈農林水産部長〉

- 本県での漁業の新規就業者は大半が漁業者の子弟。
- 将来の力強い担い手となるよう、各種研修会などを通じて**漁業技術や経営ノウハウの向上**を促すほか、経営基盤を強化するための**無利子融資**や**漁船漁具の導入支援**などに取り組んでいる。
- **漁業者の子弟以外の担い手確保**のため、関係市や漁業団体と連携し、国の制度を活用した実務研修に取り組むとともに、今後、漁業就業希望者が集まる全国規模のフェア参加も。
- 本県独自の支援策については、山口県の事例等も研究しつつ、魅力ある産業として発展させ、担い手の確保につなげていきたい。

4 中小企業の賃上げについて

〈質問〉 県中小企業支援センターの調査では、約6割の企業が賃上げした一方、賃上げに踏み切れない企業も依然として多い。賃上げは、価格転嫁が容易にできない企業にとっては大きな問題だ。奈良県は、賃上げする事業者に給付金を支給している。本県でも、**中小企業の賃上げを促進する施策**を展開すべきと考えるが。

〈伊原木知事〉

- 企業の成長力を維持しつつ賃上げを実現するため、企業の生産性を向上させ稼ぐ力を強化し、賃上げの原資を持続的に生み出すことが不可欠。
- 県中小企業支援センターを中心に、生産性向上に向けた**相談対応や専門家派遣**を行うとともに、**経営革新計画の策定**や販路開拓、**デジタル化の推進**などに取り組んでいる。
- また、現在、**エネルギー効率化や新事業展開・事業再構築等の取組**を支援している。

5 女性活躍の推進について

〈質問〉 若年女性の県外流出は、出生数に大きく影響し、人口減の大きな痛手となる。本県で就職し、**仕事と出産・子育てが両立できる環境整備**が重要ではないか。

〈伊原木知事〉

- 女性活躍や働きやすい職場づくりに取り組む企業へ、アドバイザー派遣や人材育成をサポート、将来への悩み・不安を抱く女性へのキャリア形成支援、固定的な性別役割分担意識解消がテーマのセミナーなど、**女性活躍の環境づくりで県外流出を抑制**していく。



11月定例会
一般質問

3度目となる一般質問で登壇 執行部から力強い答弁を引出しました

1 産業団地開発について

〈質問〉 分譲用地の不足で企業立地件数が伸び悩んでおり、用地開発が急務だ。香川県では、民間事業者による工業団地開発を支援する新制度を設けている。企業誘致に向け、どのような施策で**産業団地開発**を進めるのか。

〈伊原木知事〉

- これまで開発に取り組む市町村への支援の拡充、民間開発支援に地域未来投資促進法等の活用など、産業団地の確保に努めてきた。
- 新たな産業用地の確保は喫緊の課題であり、今後とも**市町村に対する支援制度の活用**を働きかけ、他県の状況や市町村の意見も踏まえて加速させていく。

2 ゼロゼロ融資を抱える中小企業について

〈質問〉 特にコロナ禍からの回復が遅れ、ゼロゼロ融資での債務を抱える**中小企業への支援**は急務だ。現状の課題をどう認識し、どう取り組むのか。

〈産業労働部長〉

- 事業の先行きが見通せず、ゼロゼロ融資の返済に窮し、事業継続が困難な企業もあることは認識している。
- 県制度融資による**借換支援**や**相談対応**、本質的な経営体質の改善に向けた支援など、中小企業に寄り添った支援に取り組んでいく。

3 漁業施設の活用について

〈質問〉 国は、水産物の消費増進等のため、漁港施設等の有効活用で価値や魅力を生かす「海業(うみぎょう)」を展開する。漁港を水産物消費や観光的な場として活用することは地域の活性化に重要だ。本県でも海業を展開していくべきだが、**漁港施設の活用**をどう進めるのか。

〈農林水産部長〉

- 海業は水産物の消費拡大や地域の活性化も期待できる。水産業との調和を図りつつ展開できるよう、事業者の**漁港施設の有効活用を支援**していく。

6 こども計画の策定等について

〈質問〉 国が策定する「こども大綱」を勘案して「こども計画」を策定することが県の努力義務だ。それにあたり、**こども等の意見を聴取・反映する措置**を講ずるのか。

〈子ども・福祉部長〉

- 「岡山いきいき子どもプラン2020」に基づき、様々な子ども関連施策を推進している。これを改訂し、「**こども計画**」として位置づける。
- 国が示す予定のガイドラインを参考に意見聴取を行い、より効果的な施策につなげていく。



4 鳥インフルエンザについて

〈質問〉 昨季、鳥インフルエンザ感染拡大による供給不足と飼料価格高騰が重なり、鶏卵価格は最高値で推移した。これまで農場の大型化と安価な飼料の輸入で価格の安定を支えてきたが、規模拡大による効率化にブレーキをかけないためにも、**発生予防対策**を徹底すべきだが、現在の取組はどうか？ また、大規模農場で発生した際、殺処分などの防疫措置が長期化し、自治体側の負担も大きい。今年から分割管理を周知しているが、導入は難しい。**大規模発生が多発した際の防疫措置**にどう取り組むのか。

〈農林水産部長〉

- 発生予防対策は、すべての農場に対して、**飼養衛生管理基準の遵守を厳重に指導**している。
- 特に鶏舎内へウイルスの持込みを防ぐための確認を重点的に行い、不備があれば早急な改善を求めている。
- 県内外の鳥インフルエンザの確認事例は、関係者に**迅速に情報提供し厳重な注意喚起**を行い、異常を確認した際の**早期通報も指導**している。
- 大規模発生時の防疫措置は、**自衛隊等へ派遣要請し、殺処分した家きんの焼却、埋却対応なども適切に指導**。
- 負担軽減に向けて、殺処分から搬出、清掃、消毒、焼却などの**効率化や、外部委託も検討**している。
- 分割管理は実効性が上がるよう、国に改善を提案している。

5 不登校対策について

〈質問〉 **不登校児童生徒の減少**に、どう取り組むのか。

〈教育長〉

- 登校支援や別室指導の実践、教育相談体制の充実、学校の組織体制の強化等に取り組んでいる。
- 国のまとめた緊急対策パッケージも踏まえ、**教室以外やオンラインでの居場所づくり**も検討し、すべての不登校児童生徒に必要な支援を届けていく。
- 授業や学校行事等の魅力アップ**により、新たな不登校を生まない取組も進めていく。

3日目のトップバッターで登壇

笠岡地域の課題など 幅広い分野での質問を

1 中小企業の成長に向けたM&A等について

〈質問〉 企業が後継者不足等で廃業を迫られ、雇用の維持、技術やノウハウの損失も懸念される。県内でもM&Aを規模拡大や事業承継等に活用する中小企業が増えているが、**一歩踏み込んだ支援**が必要ではないか。

〈伊原木知事〉

- 中小企業のM&Aは規模拡大による生産性向上や後継者不在企業の事業承継に有効な手法。
- M&A等による第三者への事業承継の増加が見込まれ、M&Aの手法や課題を紹介する実践型研修、専門家の派遣等で支援してきた。
- 関係機関等による**岡山県事業承継ネットワーク**の活用で、企業の掘り起こしやマッチングを進め、事業や技術を円滑に承継されるよう取り組んでいく。

2 私立学校について

〈質問〉 私立学校は、建学の精神に基づく特色ある教育で重要な役割を果たしている。教育県岡山の復活に私学教育の振興も欠かせず、**安定的な経営の推進や保護者の負担軽減**に支援の充実が必要ではないか。

〈伊原木知事〉

- 私立学校は公教育の重要な一翼を担っており、教育の質の向上、保護者の経済的負担軽減、経営の健全性向上の観点から支援に努めてきた。
- 今年度は、経常費補助金に教育環境充実枠を新設し、取組を促し、その状況に応じて加算も行った。
- 来年度予算案でも**低所得世帯への奨学金給付の増額、教員業務支援員配置への支援**他を盛り込んだ。

〈質問〉 令和6年度から教員採用試験の出願要件が変更となり、私立学校教員の公立学校への移動も想定される。**私立学校教員の確保への影響**をどう認識しているか。

〈教育長〉

- ご指摘の特別選考は、県外で勤務する現職教員のUターン等を促進し、優秀な人材確保を目的としている。
- その際、平等な取扱いの観点から、国公立も私立も、勤務経験を同等とみなし、すべての教員を対象とした。
- これまでも、私立の教員が公立での勤務を希望する際、一般選考で受験しており、**大きな影響はない**と考える。

この1年間の活動の様子です



▲当選証書を受け取りました



▲テレビで県政報告を



▲自民党県連青年局での街頭活動



▲地域の行事に参加!



3 带状疱疹ワクチンについて

〈質問〉 50歳以上の者は带状疱疹のワクチン接種により、発症予防、重症化予防が期待できるとされている。国では定期接種化が検討されているが、その結果を待つことなく、**助成制度**を創設すべきではないか。

〈保健医療部長〉

- 予防接種費用の公費支援は、ワクチンの有効性や費用対効果、安全性等を十分に評価した上で定期接種により実施することが適当と考える。
- 県としては、中国地方知事会を通じ、国に対して、**速やかな定期接種化**を求めており、動向を注視していく。

4 周産期医療体制の確保について

〈質問〉 井笠地区の人口10万人に対する医師数は、県全体に比べ大幅に低く、昨年12月末には笠岡市で唯一の産婦人科医院が閉院となり、不安が広がっている。少子化対策は喫緊の課題であり、人口流出を食い止めるためにも**安心して出産できる環境の整備**が必要だが、今後の周産期医療体制の確保について伺いたい。

〈保健医療部長〉

- 県では、病院等が支給する分娩手当に対する支援、地域枠を卒業した産婦人科専門医の県北への配置等を行っているが、出生数の減少等による産科医療機関の閉院など、周産期医療を取り巻く状況は厳しさを増している。
- 健診・分娩機能の分化・連携や、助産師機能の活用拡大など、限りある保健医療資源を有効に活用した**持続的な周産期医療体制づくり**を検討、実施していく。

5 笠岡湾干拓地の臭気対策について

〈質問〉 これまで県は臭気対策資材購入の補助、畜産農家全戸巡回調査など、臭気低減の対策を講じてきたが、苦情件数は低下しているものの、改善傾向は感じられない。さらなる低減、解消に向け、**一歩踏み込んだ対策**が必要ではないか。

〈農林水産部長〉

- 苦情件数だけでなく、臭気指数も低下傾向にある。
- バイオガス発電所の稼働で、さらなる臭気低減が期待されるものの、堆肥化処理や発電の副産物である消化液が無臭でないことも課題となっている。
- 市と連携し、**堆肥生産過程での臭気抑制も指導**、消化液の臭気拡散防止につながる機械の導入など国への**申請内容への助言**などを行っていく。